

令和2年第4回西之表市議会定例会

所信表明並びに提案理由説明



おはようございます。

本日、令和2年第4回西之表市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様には御出席をたまわり、誠にありがとうございます。

市内のサトウキビ畑では、鎌による手刈りの姿が見られるようになりました。伝統の黒糖づくりの準備ということでもあります。

例年であれば、忘年会などでにぎわいを見せる季節ではありますが、今年は少し状況が異なっております。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響は大きく、今後も感染症対策にしっかり取り組む必要があります。一方、万全の感染症対策を行いながら、社会・経済も回さねばならず、日本全体が難しいかじ取りを求められている状況です。

いま国では、臨時国会が開催され各種法案の審議がなされています。また、政府は新型コロナウイルスの感染防止策の徹底と社会経済活動の両立を図るため、総理より追加の補正予算編成の指示が出され、当初予算と合わせて「15か月予算」の考え方で予算編成にあたるとの報道がされています。

これから予算編成作業も終盤を迎えることとなりますが、国の

予算や施策の動向を注視し、今後の本市の各種施策へ生かすことができるよう努めてまいりたいと考えております。

それでは、議案説明に先立ちまして、産業や地域の状況、行事経過や課題などについてふれたいと思います。

まず、農業についてであります。

新型コロナウイルス感染症、感染拡大の影響については、GOTO トラベルやGOTO イートの影響もあり、全国的に消費の回復が進んでいることから、農産物や畜産物の販売価格が徐々に回復傾向になってきております。

しかしながら、本市基幹作物であるさつまいもにおいて、基腐病が蔓延し安納いもを中心に重大な被害をもたらしております。大幅な減収も見込まれています。現在、国・県・関係機関が一体となって、生産者への支援策及び次期作に向けた対策を検討しています。日本で初めてさつまいもが栽培されたこの歴史ある本市のさつまいも栽培を絶やさないためにも、生産者が次年度に安心して生産が行えるよう早急な対策を講じるよう努めてまいります。なお、澱粉原料用さつまいもにつきましては、見込平均反収が4.6俵（昨年実績

比2割減)、安納いも等の青果用さつまいもについては、見込平均反収1,000キログラム(昨年実績比5割減)と大幅な減収となる見込みとなっています。

サトウキビにつきましては、生育初期は順調に生育していたものの台風10号及び台風14号による塩害等の影響が残り、見込平均反収5,423キログラム(昨年実績比約8%減)となっています。なお、製糖工場の原料受入を12月10日から開始し、年末年始休暇や増産推進日等を挟んで、来春の4月6日に受入終了し、4月8日製糖終了予定となるようです。

一昨年度からの夏植え・秋植えの積極的な推進により増反が進んでいるものの、高齢化による担い手不足が課題であることから、受託組織のさらなる強化を図るなど、将来を見据えた取組みを進めたいと考えています。

畜産につきましては、外食産業等の消費回復により、枝肉価格及び子牛セリ市価格の相場が回復傾向にあります。直近の11月の種子島家畜市場における子牛平均価格は、68万7千円あまりで今年最低価格だった5月と比較すると、プラス11万3千円あまりの高値となりました。

有害鳥獣のシカ対策については、捕獲と防護の両面からの対策を進めており、捕獲頭数については10月末現在で、1,999頭となりました。

林業につきましては、市有林における間伐を実施しており、本年度は、およそ9.7haの施業となる見込みです。

次に、観光・商工業等の取り組みについて報告いたします。

10月15日から31日まで、東京都浅草のまるごとにつぼんにおいて、種子島産安納芋を使ったコラボレーションメニューの企画販売及び特産品プレゼントキャンペーンを実施しました。

10月29日には鹿児島市の池田小学校の児童50名が、また、11月20日には京都市の洛北高等学校附属中学校の生徒70名が修学旅行による学習プログラムで来島し、火縄銃試射の見学が行われました。

11月4日、福岡市の株式会社博多大丸を「情報発信アンバサダー」に認定するための、認定式が本市で行われました。今後「九州探検隊プロジェクト」として、ホームページ掲載や物産展等を通じたPR活動を行っていく予定です。

1 1月8日から9日までの2日間、「港町再生基本構想」に基づき、商店街の道路空間デザインを検討するため国道58号線の一方通行の社会実験を行いました。

8日は、西町・東町の通りで商工会主催による商工フェスタや子供まつり、夜は種子島鉄砲まつり振興会による花火の打ち上げがあり、三密を避けながら、久しぶりのイベントを楽しむ様子が見られました。

1 1月18日、東京大学未来ビジョンセンターと種子島1市2町による包括連携協定調印式がオンラインで開催されました。これは、種子島における地域課題の解決を図るため、相互連携と協働による新たなプラットフォームを構築し、持続可能な社会を目指すものです。

次に社会教育分野の行事の状況などについて報告します。

体育関係では、中止が相次ぎました。10月11日に第58回市民体育祭、11月15日に第49回市駅伝競走大会、29日に第54回種子島相撲大会を、また、文化関係でも、11月7日に第49回市民文化祭、21日に第46回熊毛地区広域文化祭をそれぞれ開

催予定でしたが、すべて中止となったところです。

文化財関係では、10月17日から11月23日まで鉄砲館において「上妻家文書展」が開催されました。国内最古級、約50年前の夫婦肖像画や時堯公の槍の許状など、旧上妻家住宅から発見され、修復・復元を終えた史料を展示公開しました。大きな話題となりました。また、恒例の「西之表市いけばな展」は11月28日と29日に、鉄砲館で開催することとしています。

社会福祉関係の取組みについても報告いたします。

11月7日には、令和2年度西之表市戦没者追悼式が、わかさ公園慰霊塔前で行われました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、参加規模を縮小しての開催となりましたが、戦没者に哀悼の意を込め、献花をさせていただいたところです。

馬毛島問題について申し上げます。

私は、今年8月の防衛省による「馬毛島への施設整備」の説明を受け、10月に「施設整備により失うものの方が大きく、同意でき

ない」旨の所見を公表しました。

また、11月9日には、防衛大臣、航空幕僚長らにお会いし、所見を手渡した上で、「地元の理解が得られない中、これ以上計画を進めないで欲しい」旨、伝えてまいりました。

同様に、塩田県知事と2回意見交換をいたしまして、私の考えをお伝えしたところです。

防衛省側は、海上ボーリング調査や環境影響評価を早期に実施したい意向を示しておりますが、地元の理解が得られない中、スケジュールありきの一方的な計画推進は許されるものではないと考えております。

国には、この問題が、地元にとっては将来を左右する非常に重大な問題であることをあらためて認識された上で、真摯に対応していただきたいと思っております。

それでは、主な議案についてご説明いたします。

議案第73号及び議案第74号は、人事院勧告関連の議案で、特別職及び一般職の期末手当の額を改定するため関係条例を改

正しようとするものです。

議案第75号は、国民健康保険税の減額に係る所得の基準等について、政令の改正に伴い条例を改正しようとするもの、議案第76号は地方税法等の一部改正による、関係条例の改正です。

議案第77号及び議案第78号は、公の施設の指定管理者の指定に関するもの、議案第79号は、鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の変更に伴い議会の議決を求めるものであります。

議案第80号は、令和2年度西之表市一般会計補正予算(第9号)であります。歳入歳出予算の総額に四千五百四十二万五千円を追加し、予算総額を百三十億八千三百二十二万七千円とするものです。

本予算の主なものについてご説明いたします。

諸収入において、種子島地区広域事務組合や熊毛地区消防組合の、前年度精算に係る返納金などを主に、四千三百三十九万八千円増額しております。

また、各種障害者福祉サービスの利用者が増加した事などにより、民生費・障害者福祉費関連に、五千八百三十七万二千円を増額しております。

そのほか、新型コロナウイルス感染症の影響による事業費縮小や各種事業の執行額確定に伴う減額が主なものとなっています。

議案第81号から第84号は、それぞれの特別会計及び水道事業会計に必要な補正を行おうとするものであります。

なお、さつまいもの基腐病対策に関連し、追加議案も予定しています。

提案いたしました議案につきまして、議員各位の御審議をお願い申し上げます。提案理由の説明といたします。

ありがとうございました。

令和2年11月26日

西之表市長 八板 俊輔